



## 第2章 哺乳動物

平野 憲司

### 佐伯管内の野生哺乳動物の概要

佐伯市は、海山共に豊かな自然に囲まれ、野生の哺乳動物が生息するには良好な環境だと考えられます。しかし、地域によっては、自然環境や人的環境の変化に伴い、野生哺乳動物の生息状況も微妙に変化していると想像出来ます。いかに現況の生息状況に近付けるか、手法を検討しつつ調査を行いました。

また、捕獲やストランディングなどで出現した種は、あるいは佐伯市において珍しいと考えられる種は記録に残しました。

### 調査概要

今回は、第一次調査の資料を補完する意味もあり、城山のムササビ生息調査を継続して行いました。結果、5年間の調査となりました。また、道路で車にはねられた野生哺乳動物や目撃した野生哺乳動物を佐伯市のメッシュ地図に記録する作業も行いましたが、調査者の移動が限られているため、全域的な調査には至りませんでした。

大まかには、以下の調査を行いました。

- ① 城山のムササビ生息調査（市民参加型で将来の利用に供する目的）
- ② 島嶼（屋形島、大入島）の調査
- ③ 佐伯市における野生哺乳動物の生息状況
- ④ 日ごろ目に触れない生き物たちの記録

### 調査報告

#### ① 城山のムササビ生息調査

第二次は、第一次の調査と同様の条件付けで継続しました。市民の皆さんの協力を頂いて調査した5年間分をまとめて報告します。

調査地は、独歩碑の道と登城の道に挟まれたエリア4.25haを設定し、登山道に8カ所の調査ポイントを設定しました。調査地の地図及びポイント図を添付します。

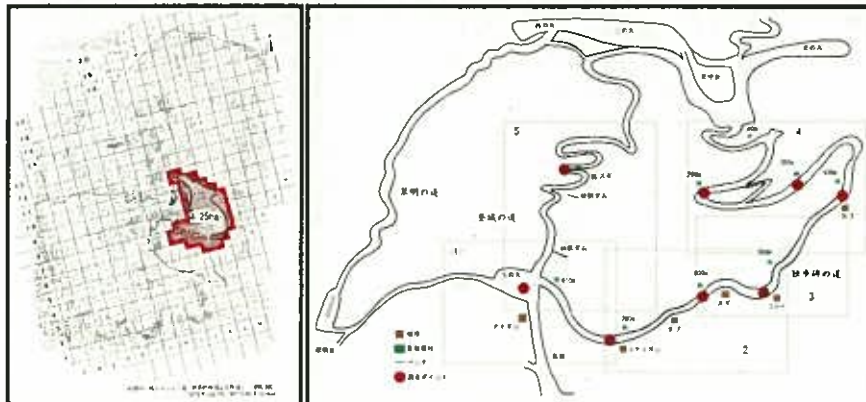


図-1 城山全域地図とムササビ調査範囲（メッシュ間隔は50m）

図-2 ムササビ調査のためのポイント図とランドマーク

## 調査期日の決定

調査は、準備の都合も含め、ムササビの活動が活発で安定した出現が期待できる11月を選びました。調査日は、月齢や調査員の利便も意識して、ほぼ満月や新月に近い土曜日を選び、データの比較が年度をまたがっても容易にできるように設定しました。

第一次、第二次の5年間分を記します。

表-1の1 第一次調査日一覧 (いずれも時間は17時30分より19時30分)

第一次	第一回	第二回	第三回	第四回
年	平成22年(2010)		平成23年(2011)	
月日	11月6日(土)	11月20日(土)	11月12日(土)	11月26日(土)
月齢	0	14.3	16.3	0.9

表-1の2 第二次調査日一覧 (いずれも時間は17時30分より19時30分)

第二次	第五回	第六回	第七回	第八回
年	平成24年(2012)		平成25年(2013)	
月日	11月3日(土)	11月17日(土)	11月17日(日)	11月30日(土)
月齢	18.6	3.2	13.6	26.6

表-1の3 第二次調査日一覧 (いずれも時間は17時30分より19時30分)

第二次	第九回	第十回
年	平成26年(2014)	
月日	11月8日(土)	11月22日(土)
月齢	15.2	29.2

## 調査の方法

調査は、城山登山道の「独歩碑の道」と「登城の道」に囲まれた4.25haを対象とし、道路100m毎に調査ポイントを8カ所設定し、日没直前の17時30分から約2時間そのポイントに滞在して調査するようにしました。(調査員の数によりポイント数は減少します)

調査の方法は、主に行動音の聞き取りです。姿の確認が出来ればより良いとしました。行動音は、鳴き声のほかに滑空の前後に出る枝の音や、ドングリの落下音などです。

大まかなポイント地図にその方位、推定位置と時刻を正確に記入してもらい、他ポイント間の重複が判定できるようにしました。

## 調査結果

五年間に渡り、延107名の市民ボランティアの皆さんに協力を頂き、十回の一斉調査を行いました。以下、調査日に従って報告します。

ムササビ出現の地図は、初出現を確認した位置を記しています。重複する個体は排除しました。雌雄の判定は、行動の形態により推定しました。

調査回数は第一次より連続して、第一回～第十回と表記します。(第二次分は五回から十回)

#### 第一次調査（第一回～第四回）

##### ● 第一回市民調査【平成 22 年（2010）11 月 6 日（土）】

10 名の調査員で調査を行いました。P-1、P-2&3、P-4、P-5、P-6、P-7、P-8 の 7 カ所への配置となりました。17 時 30 分より一斉に調査、記録を行い、19 時 30 分まで行いました。

月齢は 0（新月）で、天気は晴れでした。

結果、調査地域約 4 ha において 17 頭のムササビの出現が確認できました。雌雄は雄 7 頭、雌 11 頭と推定しました。（図-4-1）

12 月 6 日、ポイント 8 周辺の杉林の中の個体数が多い傾向がみられたことにつき、その信ぴょう性を確認するための検証調査を行いました。月齢は 0.4 でほぼ新月の状態であり、第一回調査と同条件と考えられます。結果として、4 個体が活発な行動を見せてくれ、11 月 6 日の 4 個体出現の確度は上がったと考えています。

##### ● 第二回市民調査【平成 22 年（2010）11 月 20 日（土）】

9 名の調査員で調査を行いました。調査に正確を期すために、なるべく前回のポイントに同一の調査員が配置できるように努めました。P-1、P-2&3、P-4、P-7、P-8 の 5 カ所への配置となりました。P-5、P-6 は欠測となりました。

17 時 30 分より一斉に調査、記録を開始し、19 時 30 分まで行いました。

月齢は 14.3、天気は晴れでした。

結果、調査地域約 4 ha において 14 頭のムササビの出現が確認できました。（図-4-2）雌雄は雄 6 頭、雌 8 頭と推定しました。ポイント 5、6 で確実に出現する個体は 2 個体ですが、記録できなかったのが残念です。推定値、オス 1 +、メス 1 + の 16 頭と推定出来ます。

ほぼ満月で明るい夜は、経験的に出現が低くなる傾向がみられましたが、ポイント 8 周辺の杉林の中では個体数が増加した傾向がみられました。月の明るさが気にならない林内に集中したと推察出来ます。

##### ● 第三回市民調査【平成 23 年（2011）11 月 12 日（土）】

11 名の調査員で調査を行いました。調査に正確を期すために、なるべく昨年のポイントに同一の調査員が配置できるように努めました。P-1、P-2&3、P-4、P-5&6、P-7、P-8 の 6 カ所への配置となりました。月齢は 16.3、天気は曇りでした。

結果、調査地域約 4ha において 13 頭のムササビの出現が確認できました。雌雄は、雄 6 頭、雌 7 頭と推定しました。（図-5-1）

ほぼ満月の曇りでしたが、かえって全天が明るく、滑空してくるポイント 1 の出現が 2 頭でした。また、全体的に各種の行動が静かな印象を受けました。

##### ● 第四回市民調査【平成 23 年（2011）11 月 26 日（土）】

12 名の調査員で調査を行いました。調査に正確を期すために、なるべく前回のポイントに同一の調査員が配置できるように努めました。P-1、P-2&3、P-4、P-5&6、P-7、P-8 の 6 カ所への配置となりました。月齢は 0.9、天気は曇りでした。

結果、調査地域約 4 ha において 18 頭のムササビの出現が確認できました。雌雄は、雄 6 頭、雌 12 頭と推定しました。（図-5-2）





図-4-1, 4-2 平成 22 年 (2010) 11 月 6 日、20 日のムササビ出現図 (17:30~19:30)  
 升目は 50m 間隔。位置は、初見位置



図-5-1, 5-2 平成 23 年 (2011) 11 月 12 日、26 日のムササビ出現図 (17:30~19:30)  
 升目は 50m 間隔。位置は、初見位置

#### 第二次調査 (第五回~第十回)

##### ● 第五回市民調査【平成 24 年 (2012) 11 月 3 日 (土)】

11 名の調査員で調査を行いました。調査に正確を期すために、なるべく昨年のポイントに同一の調査員が配置できるように努めました。P-1、P-4、P-6、P-7、P-8 の 5 カ所への配置となりました。月齢は 18.6 (満月) で、天気は晴れでした。

結果、調査地域約 4 ha において 14 頭のムササビの出現が確認できました。雌雄は雄 5 頭、雌 9 頭と推定しました。(図-6-1)

##### ● 第六回市民調査【平成 24 年 (2012) 11 月 17 日 (土)】

11 名の調査員で調査を行いました。調査に正確を期すために、なるべく前回のポイントに同一の調査員が配置できるように努めました。P-1、P-2&3、P-4、P-6、P-7、P-8 の 6 カ所への配置となりました。月齢は 3.2、天気は曇りでした。

結果、調査地域約 4 ha において 16 頭のムササビの出現が確認できました。雌雄は雄 5 頭、雌 11 頭と推定しました。(図-6-2)

● 第七回市民調査【平成 25 年（2013）11 月 17 日（日）】

12 名の調査員で調査を行いました。調査に正確を期すために、なるべく昨年のポイントに同一の調査員が配置できるように努めました。P-1、P-4、P-6、P-7、P-8 の 5 カ所への配置となりました。月齢は 13.6（満月）で、天気は曇りで無風でした。

結果、調査地域約 4ha において 15 頭のムササビの出現が確認できました。雌雄は雄 5 頭、雌 10 頭と推定しました。（図-7-1）

● 第八回市民調査【平成 25 年（2013）11 月 30 日（土）】

9 名の調査員で調査を行いました。調査に正確を期すために、なるべく前回のポイントに同一の調査員を配置しました。P-1、P-4、P-6、P-8 の 4 カ所への配置となりました。月齢は 3.2、天気は曇りでした。

結果、調査地域約 4ha において 14 頭のムササビの出現が確認できました。雌雄は、雄 6 頭、雌 8 頭と推定しました。（図-7-2）

● 第九回市民調査【平成 26 年（2014）11 月 8 日（土）】

11 名の調査員で調査を行いました。調査に正確を期すために、なるべく前回のポイントに同一の調査員を配置しました。P-1、P-4、P-6、P-7、P-8 の 5 カ所への配置となりました。月齢は 15.2、天気は曇り後雨でした。

結果、調査地域約 4ha において 14 頭のムササビの出現が確認できました。雌雄は、雄 5 頭、雌 9 頭と推定しました。（図-8-1）

● 第十回市民調査【平成 26 年（2014）11 月 22 日（土）】

11 名の調査員で調査を行いました。調査に正確を期すために、なるべく前回のポイントに同一の調査員を配置しました。P-1、P-3、P-4、P-6、P-8 の 5 カ所への配置となりました。月齢は 29.2、天気は晴れ後薄曇りでした。

結果、調査地域約 4ha において 16 頭のムササビの出現が確認できました。雌雄は、雄 7 頭、雌 9 頭と推定しました。（図-8-2）



図-6-1、6-2 平成 24 年（2012）11 月 3 日、17 日のムササビ出現図（17：30～19：30）  
升目は 50m 間隔。位置は、初見位置





7-1



7-2

図-7-1, 7-2 平成 25 年 (2013) 11 月 17 日、26 日のムササビ出現図 (17:30~19:30)  
 升目は 50m 間隔。位置は、初見位置



8-1



8-2

図-8-1, 8-2 平成 26 年 (2014) 11 月 8 日、22 日のムササビ出現図 (17:30~19:30)  
 升目は 50m 間隔。位置は、初見位置

● ムササビ調査結果のまとめと考察

城山のムササビ調査は、土日を主体に新月と満月に近い日に行いました。出現図は、個体を初めて確認した場所を記入し、移動等によって同一個体が重複しないように注意して記入しました。

表-2 の十回の調査の結果を見ますと、通常のエリアでは 6.25 頭程度の生息数が計算されますが、2.08~2.88 倍で生息していることが分かりました。

出現には、月齢が影響している傾向も見て取れます。

表-2-1 ムササビ調査集計表 第一次（平成22年～平成23年）

	第一回	第二回	第三回	第四回
年	平成22年(2010)		平成23年(2011)	
月 日	11/6	11/20	11/12	11/26
月 齢	0	14.3	16.3	0.9
天 気	晴れ	晴れ	曇り	曇り
参加人数(名)	10	9	11	12
調査ポイント数	7	5	6	6
P-1(頭)	5	3	2	4
P-2(頭)				
P-3(頭)	2	1	1	2
P-4(頭)	2	3	3	4
P-5(頭)	2			
P-6(頭)	2		2	2
P-7(頭)	1	2	1	2
P-8(頭)	4	5	4	4
推定♂(頭)	7	6	6	6
推定♀(頭)	11	8	7	12
計(頭)	18	14	13	18

表-2-2 ムササビ調査集計表 第二次（平成24年～平成26年）

	第五回	第六回	第七回	第八回	第九回	第十回
年	平成24年(2012)		平成25年(2013)		平成26年(2014)	
月 日	11/3	11/17	11/17	11/30	11/8	11/22
月 齢	18.6	3.2	13.6	26.6	15.2	29.2
天 気	晴れ	曇り	曇り	曇り	曇&雨	晴&曇
参加人数(名)	11	11	12	9	11	11
調査ポイント数	5	6	5	4	5	5
P-1(頭)	4	2	4	5	2	3
P-2(頭)		1				
P-3(頭)					1	1
P-4(頭)	4	3	5	5	4	4
P-5(頭)						
P-6(頭)	2	4	1	1	5	6
P-7(頭)	1	3				
P-8(頭)	3	3	5	3	2	2
推定♂(頭)	5	5	5	6	5	7
推定♀(頭)	9	11	10	8	9	9
計(頭)	14	16	15	14	14	16



② 島嶼（屋形島、大入島）の調査

1、佐伯市蒲江屋形島の調査

平成 25 年 6 月 29 日の午前 9 時から島に渡り、午後 2 時 30 分までのおおむね 5 時間にわたって島内の北部をほぼ半周歩きました。

特筆すべき事項は、島の古老から聞いた「シカもイノシシも島外から渡ってくる」というものでした。中型、大型の哺乳類はかつて生息していなかったと聞きました。

調査してみますと、イノシシとシカの生息痕はたくさんあるのですが、その他の中型、大型哺乳類に関しての生息痕は発見出来ませんでした。日中の調査のため、ネズミ等の小型哺乳類は調査の対象から外しました。

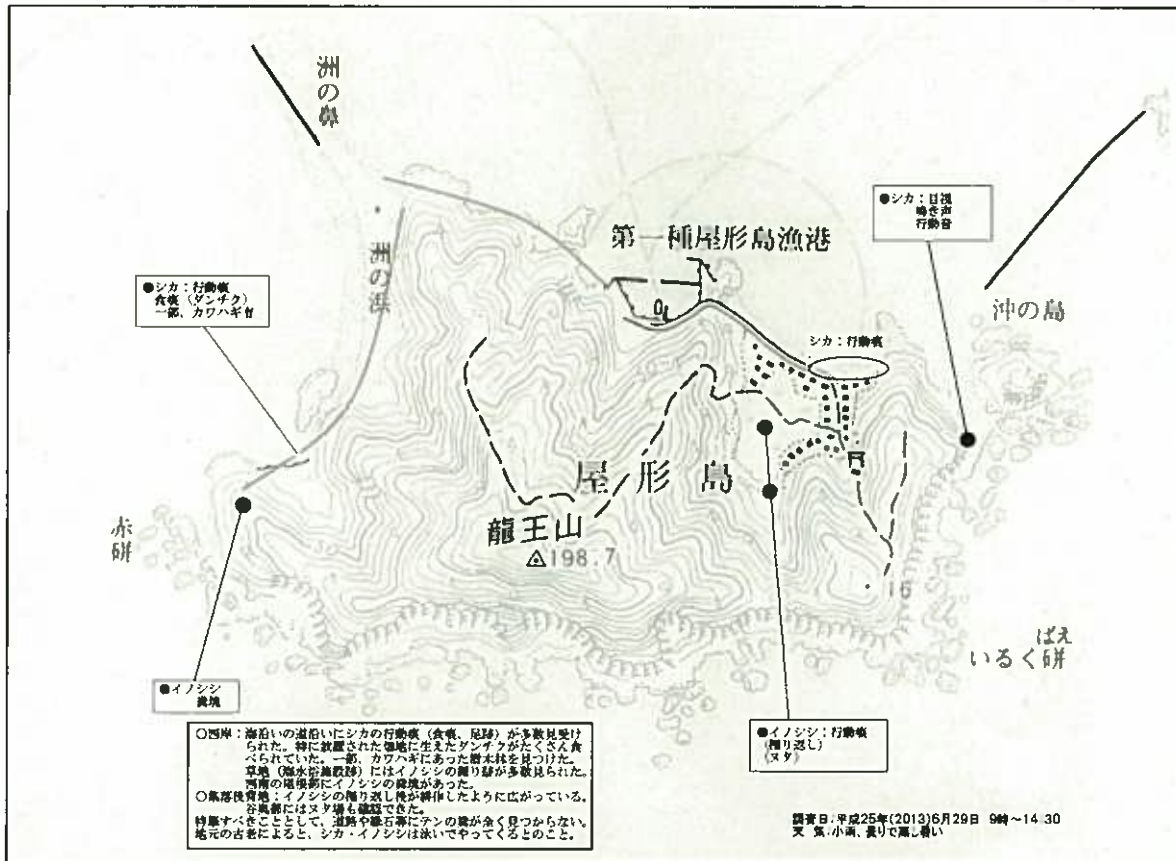


図-9 屋形島調査地図（平成 25 年 6 月 29 日）



図-10 屋形島の集落後背地（イノシシの活動が顕著に見られた）

## 2、佐伯市大入島の調査

平成 26 年 8 月 31 日の午前 9 時から島に渡り、午後 4 時 00 分までのおおむね 7 時間にわたって島内の道路を利用して一周しました。

道路周辺ではイノシシの痕跡が多く、シカやテンなどの動物の痕跡は見つかりませんでした。一カ所でムササビの食痕を見つけました。

日中の調査のため、ネズミ等の小型哺乳類は調査の対象から外しました。



図-11 大入島全景



図-12, 13 イノシシの痕跡が多いビワ畑。シカだと葉を齧るがその痕跡は無い。



図-14, 15 道路の端を掘り返している。島の西部は至る所に痕跡がある。

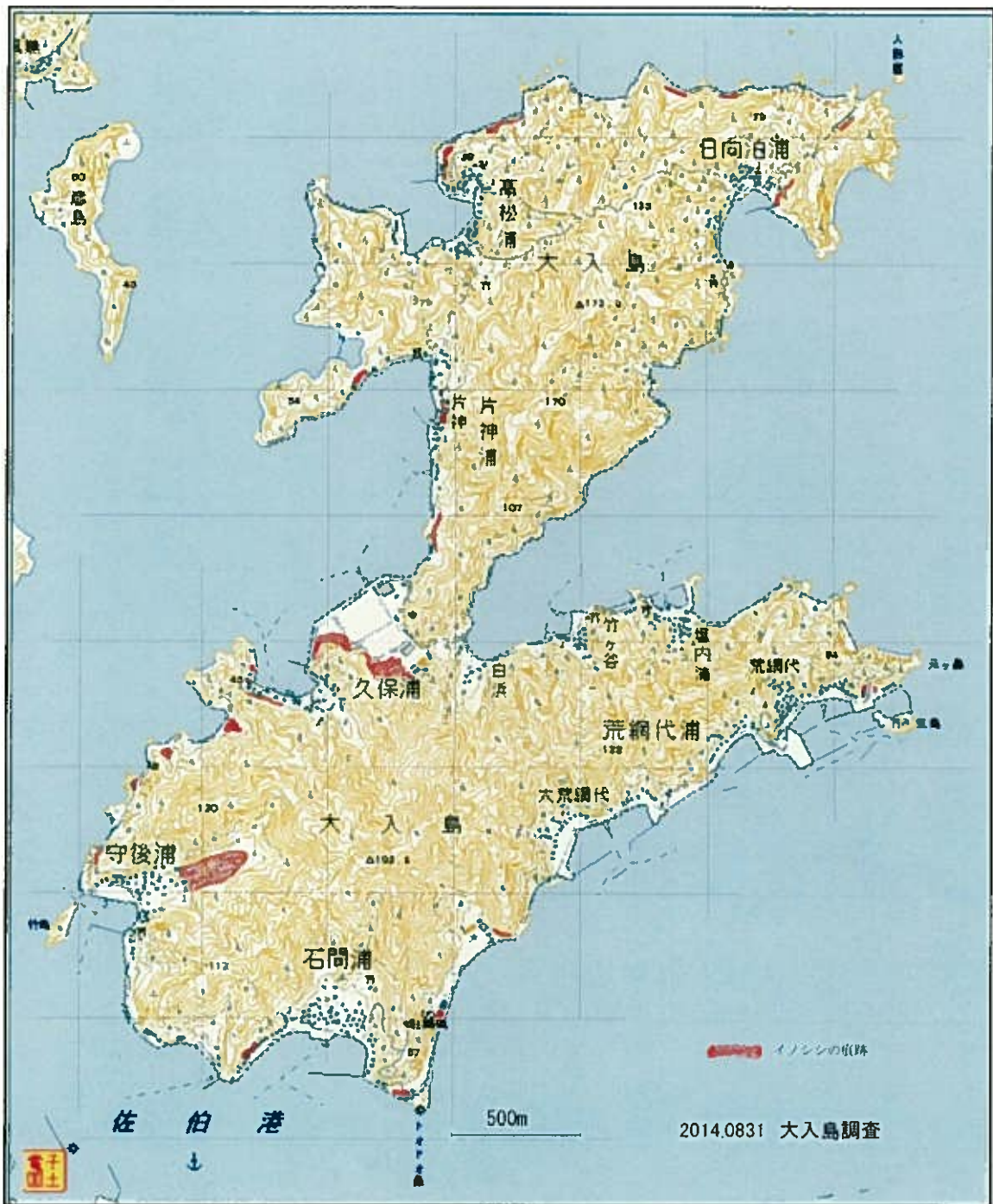


図-14 ムササビの食痕



図-15 東部、集落の横までイノシシが





・イノシシ

島の西部では、イノシシの活発な行動痕が見られました。東部は、急傾斜な法面で整備されているためか、ほとんど動物の行動痕跡は見られませんでした。

住民への聞き取りによると、イノシシは、10～20年前よりその存在を意識するようになり、被害も出始めた様に感じているそうです。

古老に聞くと、「昔は、イノシシはいなかった」そうです。噂で、「海を渡ってきたとか、飼っていたのを放した」と聞いたそうです。大きさは、40kg程度のがいるそうです。

- ・シカの痕跡を見つけることが出来ませんでした。
- ・ムササビは一カ所で食痕の確認が出来ました。
- ・アナグマ、タヌキの話は聞いたが、テンは全く痕跡が出ませんでした。



③佐伯市における野生哺乳動物の生息状況

調査の期間中、なんらかの形で確認できた種を地図上に記載しました。姿の視認、ロードキル、生息痕跡の確認など、確実に確認できたもののみ記載しました。

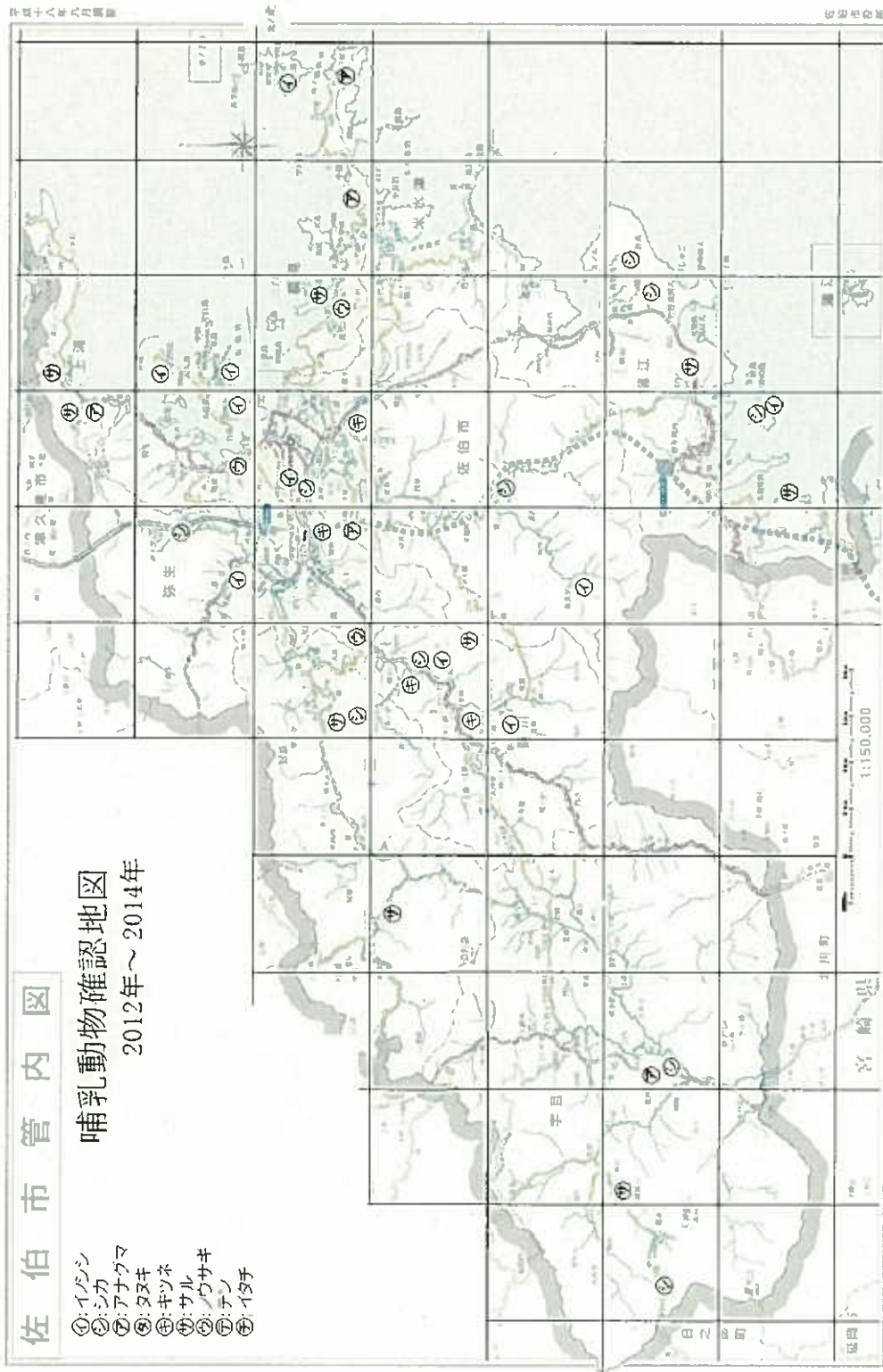


図-16 佐伯市内の哺乳動物確認地図 (2012～2014)

③ 日ごろ目に触れない生き物たちの記録

ナガスクジラ (*Balaenoptera physalus*)

長須鯨、長鬚鯨、クジラ目ヒゲクジラ亜目に属するヒゲクジラの一つ

発見日時：平成 25 年（2013）3 月 2 日早朝

発見場所：佐伯市蒲江仙崎・高平沖の定置網

発見状況：定置網にかかっていた。当初は生きていたが絶命。

元猿漁港に曳航し、スロープで引き上げ、解体。

体長：およそ 15m 体重：およそ 20t 若年個体と思われます（日本鯨類研究所の見解）



図-17, 18 ヒゲクジラの特徴である口内のヒゲ、クジラの特徴である尾びれ



図-19, 20 人の姿が小さく見える。右側面は白っぽいのが、左は黒い特徴が見て取れる。

ザトウクジラ (*Megaptera novaeangliae*)

座頭鯨、クジラ目ヒゲクジラ亜目ナガスクジラ科のヒゲクジラの一つ

発見日時：平成 26 年 (2014) 4 月 20 日早朝

発見場所：佐伯市米水津の地黒島の水道の定置網 (渡辺誠二さんの網)

発見状況：定置網にかかっていた。死亡して流れてきたものと推定

古老に聞くも、初めて見るとのことで、今までに記録は無い。

体長：9m、体重：およそ 9t、雌雄：雄。

成体で体長 13~14m、体重 30t ほどの大きさになるので、若年個体だと推定しました。



図-21 ザトウクジラ



図-22 特徴の大きな胸びれ



半島と地黒島の上に設置された定置網です。後ろに見えるのは沖黒島です。

図-23 発見された米水津湾



## オサガメ

発見日時：平成 25 年 5 月 23 日

発見場所：佐伯市蒲江元猿地先

発見時の状況：佐伯市蒲江元猿地先の定置網にかかり、捕獲。計測後放流しました。

大分県初の確認。

(甲長：131 cm、幅：74 cm、推定体重：150～200kg)



図-24, 25 甲羅にある三本の線が特徴です

## コウノトリ

発見日時：平成 25 年 6 月 1 日

発見場所：佐伯市直川大字横川大津留の水田

二度目の飛来で鳥類調査部門の武石さんに連絡

足にバンディングされており、国内生息の個体と判明しました。



図 26, 27 トラクターを気にするでもなく水田で餌をついばむコウノトリ

以上  
文責：平野憲司

【参考】

ムササビ保護の記録（平成 25 年：2013 年 2 月 1 日～6 月 18 日）

2 月 1 日：10 時 49 分 佐伯市教育委員会社会教育課文化振興係 吉武牧子氏より電話  
『城山の登山道でムササビの子どもが落下しており、巣穴から親が覗いてる。子どもは落ち葉をかぶせて放置している。』と市民から通報があったとの連絡。

13 時現地に行く。

ずぶぬれの状態でムササビの子どもが落ち葉の上にいた。(Ph-1)

親が巣穴からのぞいていた。(Ph-2、2')

腹に指を入れると温かかったので、フキの葉をかぶせて親の回収を待った。



Ph-1

Ph-2

Ph-2'

現地より、吉武さんに確認の連絡を入れる。

一番の解決方法は、巣穴へ戻すことだが、巣穴のある位置が高いために戻すことが出来そうにない。他の方法を考えることとする。

18 時、再度現地へ。見守りへ。

20 時、牛乳を温めて現地へ。飲ませて放置

母親は、近くまで来て動かないが、子どもに近づかないでじっとしている。(Ph-3)



21 時 30 分、体温が下がり、泣き方も弱くなったので保護することにする。

自宅に連れ帰り牛乳を随時与える。(Ph-4)

体重：180g、頭胴長：18cm 尾長：17cm



2 月 2 日：巣箱を作り、設置し、子どもを入れて放置。

15 時、巣箱を設置する。(Ph-5)

18 時、子どもを巣箱に入れる。

20 時、観察に行く。親は動いているが

巣箱に近づいた形跡はない。

21 時 30 分現地を離れる。朝、尋ねることとする。



2 月 3 日：巣に戻すのが無理なようなので 11 時回収し、保護飼育を行うこととする。

体温も下がり、空腹で鳴く。牛乳を随時与え、温める。小用をする。  
仔猫用ミルクを使用、好みではないようだ。

頭胴長 (HBL) : 180mm、尾長 (TL) : 170mm

2月4日 : 早朝3時より随時牛乳を与える。ムズがっているようで元気がない。  
飲み方も散漫である。

11:00、教育委員会に電話 (江藤さん) 概略の報告

2月5日 : 6時30分に10粒程の軟便を確認。1ccほどのミルクを飲む。  
何だか峠の一つを越した感じがする。よく寝ている。

夜 (21時) 左の眼が開く。よく寝る。

2月6日 : 夜右目開く

2月7日 : 21時、いっぱい糞と小水。

よくミルクを飲む。糞も小水も順調。

6時間から9時間間隔でミルクは足りるようだ!

体重 : 200g に増えたようだ。

2月8日 : 18時大量の糞と小水をして、一口ミルクを飲んでまた寝る。体重 : 210g  
よく寝、よく飲み、よく出す。

自然下での授乳はさほど頻繁でないのかも知れない。

6時間~9時間は平気で寝ている。

いじらなければもっと伸びるかもしれないと感じる。

2月10日 : 巣より自力ではい出る行動を起こす。

2月12日 : 大分県南部振興局林業班、小野さんに電話。飼育許可

2月13日 : 一週間目であるが順調! (Ph-6)

2月14日 : 21時計測

頭胴長 : 23 cm、尾長 : 20 cm 体重 : 260g (概算)

今日から、巣箱を大きな段ボールの中に入れる。

櫛の葉っぱを敷く。大量の小水をしていた。

ミルクを一メモリ飲む。すぐに寝た。

2月15日 : 元気で飲み且つ出している。大きくなった。体温 : 37.4度 (24時)

2月16日 : 21時 : 体重 300g、尾長 : 24 cm (正確)

葉っぱを入れるようにした。いいようだ。タオルでくるむよりフリースでくるんだ方が、保温が効きよく寝るようである。小水は巣穴から出てするようになった。

9時間おきにミルクを飲む。

2月21日 : 順調に大きくなっている。ミルクもずいぶん飲みだした。ほっておくと平気で  
12時間寝る。県より保護飼育の許可が下りた。

2月22日 : 体重 340g (13時)





何かを齧りたい衝動にかられだしたようだ。

固形物を与えてみるが、まだ食べない。

2月23日：体重の変化なし。葉っぱを齧るようになった。ミルクは少なめになったようだ。

2月24日：体重の変化なし。体温が高め 38, 4度。昨夜も一晩中ガサガサ落ち着きがない。  
体調不良か？それとも本来の習性に目覚めたのだろうか。

2月26日：体重 380g (11時) 頭胴長、尾長：30 cm (概算)

昨夜、巣を大きな箱に変え、巣箱を木製に変えた。ヘリをがりがり噛んでいる。  
時折榿の葉を齧っているようだ。便が黒くなった。動きが活発になり、尻尾をあげた独特のポーズをとるようになった。

2月27日：体重 390g (22時)、サイズ変わらず Ph-7

2月28日：巣箱を作り、移す。何だか心地いいようです。Ph-8

3月2日：体重 400g、Ph-9



Ph-7



Ph-8



Ph-9

3月4日：飛び付く行動を始めた。1m程度ジャンプする行動を行う。

3月5日：カーテンを登ろうとする。巣箱と段ボールを掃除。小水で濡れている。  
体重 410g

葉っぱを齧ったり、被膜や尻尾のグルーミングをしきりとする。

3月12日：巣箱に榿の木の棒を設置。しきりと齧る。(Ph-12)



Ph-10 (3/9)



Ph-11 (3/10)



Ph-12 (3/12)

3月13日：小屋完成。これから内装に入る。

3月14日：初めてカーテン伝いに梁に登る。登るのは出来るが、下りや移動は出来ない。柱に飛び付く行動をとるが、滑って落ちる。(Ph-13)

3月15日：小屋の中に歩き回れるように柵を付ける。

3月17日：小屋完成！枝を入れて森のようにした。(Ph-14)

いつ移動させるか検討中！

3月18日：朝、初めて小屋に入れる。だめなので元に戻す。



Ph-13



Ph-14

- 3月19日：午後より小屋に箱ごと入れる。さてどうなります事やら…？！
- 3月21日：調子が悪いようだ（便秘）。21時に屋内に入れる。ミルク飲んであっさり寝た。
- 3月23日：初めてミカンを食べる。パンは少し齧っている。  
 外の小屋に入れるが、落ち着かないので中に入れたり、外に出したりで大変。  
 まだまだ甘えたい盛りの様。  
 朝飲んだら、夜20時ころまで寝る。そして飲んで遊んで寝る、の繰り返し

- 4月13日：イチゴを食べ覚えた！！
- 4月15日：爪が鋭くなって、傷だらけになる。  
 ミルクの飲みが悪くなった。  
 固形物主体にするか？



Ph-14 鋭い爪 (4/1) Ph-15 授乳

- 4月16日：ミルク少ししか飲まない。木を相当齧り、イチゴやミカンを全て平らげていた。  
 枝を新しくした。枝のペットボトルも20にした。500ccはすぐに無くなるようになった。
- 4月25日：リンゴを初めて食べる。齧る事はあったが、やっと食べるようになったようだ。  
 でもミルクは相変わらず100ccほど飲む。  
 巣の中に取り付けた木片は二日で無くなるペースで齧る。  
 欲求不満の解消かもしれない。直径15mm程度の木片がいいようだ。
- 4月26日：生活のパターンが出来てきた。  
 7～8時：ミルク（多い時は100ccほど飲む）+遊び。布団の中でうつらうつらする。  
 巣に連れて行くと、巣箱にすぐもぐる。入らない時は、この葉をおさなりに齧る。手や顔をなめまわす。なぜだろうか？塩分の補給かともとれるが、単に甘えているだけなのだろうか。夕方まで寝る。  
 20時～ミルク+遊び。小屋の中で暴れまわる。～22時ぐらいまで。それから寝ているようだ。  
 0時～3時活動。4時～6時：活動  
 小屋の中に入っているといつまでもからみついて遊ぶ。齧ったり、肩でじっとしたり、とび跳ねたりする。

- 5月5日：バナナを食べる。夜。相変わらずミルクを飲む。そろそろ乳離れをさせたい。
- 5月8日：フクロウ鳴く。ム～の様子が少し変かな？
- 5月9日：ミルクを変える。夜は飲む。
- 5月10日：ミルクを飲まない…。
- 5月11日：ミルクの飲みが悪い。バナナ食べる。
- 5月26日：昨日くらいより頭の毛が薄い。元気がない。
- 6月4日：小屋から出て、屋根で遊ぶ。蔵の屋根や、別棟の屋根の端までいく。呼んだら帰ってきた。

生活のパターンが決まってきた。朝は布団まで一直線。ミルクを飲んで布団の中でウト

ウトして、大人しくなったら巣へ。すぐに潜り込んで寝てしまうようだ。寝ない時は、葉っぱをポリポリ齧っている。

小屋で大暴れをする。

6月15日：大騒ぎで4時起き。ミルクをぐびぐび飲む。

6月15日：山に帰す準備を始めた。翠明台の大木の5m程の所に巣箱設置用の電線を二本張った。

夜、連れて行き始めたが、車の中で大暴れ、で断念。

日中に巣箱ごと運びたい。大失敗

6月18日：体長、33cm、尾長、43cm 巣箱ごと放獣

15時より木に設置、20時まで活動の見守り



#### 追跡調査

設置した巣箱は、継続的に使用していると見受けられる。左の穴は直径8cmで、外の穴は直径10cm。一年後は相当の穴に削っている。



調査中に出現した。放獣時の2013年6月18日から、約半年後の11月に三の丸で確認。それより一年後の2014年11月22日に独歩碑の道、600mの地点で確認した。



今後も、継続して追跡調査を行っていきたい。

文責：平野憲司



佐伯市環境調査研究会

哺乳動物部門、調査記録（平野憲司）

平成26年

4月20日：ザトウクジラ、捕獲調査（佐伯市米水津浦代浦）

5月 4日：ムササビ予備調査（佐伯市城山）

5月 6日：ウサギ調査（佐伯市直川上直見）

6月27日：ムササビ調査（佐伯市城山）

参考【7月4日～6日：京都、ムササビ調査の件で先生に会う】

8月31日：大入島調査

11月 1日：ムササビ調査（佐伯市城山）

11月 8日：ムササビ調査（佐伯市城山）

11月15日：ムササビ調査（佐伯市城山）

11月22日：ムササビ調査（佐伯市城山）